

植物関連雑誌のタイトル紹介

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-02-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | https://doi.org/10.24517/00053299 |

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



植物関連雑誌のタイトル紹介

本誌47巻(1999年)から、地域の博物館、植物園、植物研究団体などが発行する研究報告書の植物関連論文タイトルを紹介してきたが、多くの発行元ホームページでタイトルや論文そのものを閲覧・ダウンロードできるようになった事から、62巻2号以降休載していた。しかしながら最近行われた会員へのアンケート調査で本コンテンツに期待するご意見もいただいたので、本号から再び掲載することとした。Web上で雑誌の情報が得られるものについてはアドレスを記載したが、公開している内容、巻号の範囲はまちまちである。雑誌の閲覧を許可された富山市科学博物館、富山県中央植物園にお礼を申し上げる。

○利尻研究

〒097-0311 利尻郡利尻町仙法志字本町136 利尻町立博物館

<http://riishiri.sakura.ne.jp/Sites/RS/>

第34号 2015年3月—沢田陽巳・近藤玲介・佐藤雅彦・五十嵐八枝子：花粉組成からみた北海道北部利尻山腹のギボシ沼湿原における3500年間の植生変遷史(67-78)／大森彩瑚・百原 新・小林弘和・近藤玲介・佐藤雅彦：大型植物遺体に基づく利尻島東南部ギボシ沼周辺の植生変遷(79-84)

第35号 2016年3月—佐藤雅彦：利尻産コテングコウモリに付着していた植物の種子(23-24)／矢野梓木・百原 新・紀藤典夫・近藤玲介・井上 京・富士田裕子：大型植物遺体に基づく北海道北部猿払川丸山湿原の後期完新世植生変遷(83-91)

○知床博物館研究報告

〒099-4113 斜里郡斜里町本町49-2 斜里町立知床博物館

<http://shir-etok.myftp.org/shuppan/kempo/kempo>

第37集 2015年3月—大崩貴之・森 章：しれとこ100平方メートル運動地および周辺地域で採集されたコケ植物(1-8)／内田暁友・浅沼孝夫：知床半島の維管束植物フロラから13種を除外する(9-12)

○ひがし大雪自然館研究報告

〒080-1408 河東郡上士幌町字ぬかびら源泉郷48-2 ひがし大雪自然館

<http://www.ht-shizenkan.com/s/study/c/1>

第2号 2015年3月—乙幡康之：大雪山国立公園、三条沼におけるミズゴケ類(9-13)

○小樽市総合博物館紀要

〒047-0041 小樽市手宮1-3-6 小樽市総合博物館

<http://www.hk-curators.jp/>

第28号 2015年4月—小樽野草愛好会：小樽市朝里川流域の植物相(9-25)

○フロラ福島

〒960-8117 福島県福島市入江町15-23 五十嵐 彰方 福島県植物研究会

第30号 2014年12月—薄葉 満：相馬中村城の堀の水生植物(1-4)／菅野修三：萩野風穴に自生するタニイチゴツナギ *P. yatsugatakensis* Honda の近縁種に関するノート(5-11)／櫛田正行・根本秀一・堀 富男：東北地方太平洋沖地震に伴う津波がいわき市錦町須賀海岸のクロマツ林に与えた影響(12-16)／須賀紀一・片野伸雄・鈴木浩一・野中俊夫・渡部秀哉・五十嵐 彰：日山の植物 3 ミズナラ群落(17-20)／伊賀和子：相馬市蒲庭のハマハコベについて(21)／伊賀和子・平 宗雄：相馬地方における着生ランの新産地および生育状況の報告(22-23)／野中俊夫：安達太良山系安達太良鬼面山風穴地帯の自然環境(VI) 2014年台風8号接近・通過に伴う安達太良鬼面山風穴地帯の温度変化(25-28)

第31号 2015年12月—薄葉 満：只見町の水田雑草相(1-9)／須賀紀一・片野伸雄・鈴木浩一・野中俊夫・渡部秀哉・五十嵐 彰：日山の植物 4 ブナ群落(11-14)／首藤光太郎・黒沢高秀：ハイハマボッサの県内新産地(15-17)／片野伸雄：つる植物とその成長(19-21)／山内幹夫：双葉郡浪江町高瀬川溪谷産ハカタシダ(23-24)

○秋田自然史研究

〒010-0873 秋田市千秋城下町8-18 田中政行方 秋田自然史研究会

<http://akita-nathist.o.oo7.jp/mokuji.htm>

第65号 2014年2月—高田 順: 秋田県におけるツバキ類の変異 (1-7) / 沖田貞敏: フクジュソウの観察 (2) ミチノクフクジュソウについての疑問 (8-14) / 沖田貞敏: イヌニガクサとエゾニガクサについて (15-17) / 菊地卓弥: 秋田県大潟村の植物点描 (1) (18-20) / 竹谷克巳: 秋田県新産のイグサ科帰化植物 *Juncus canadensis* について (21-22)

第66号 2014年11月—畠山正治・佐藤恒雄: 小友沼における秋田県未記録種オニビシ *Trapa natans* L. の発見 (1-2) / 高田 順: 秋田県フロラ資料 (21) (3-6) / 菊地卓弥: 秋田県大潟村の植物点描 (2) (7-9)

第67号 2015年2月—高田 順: 秋田県のシロバナカモメヅル類の形態変異 (1-6) / 沖田貞敏: 秋田県のレイジンソウ亜属植物について (1-10) / 沖田貞敏: 秋田県植物分布資料 (22) (11) / 沖田貞敏: ミチノクフクジュソウの観察 (12-17)

第68号 2015年11月—沖田貞敏: オトメエンゴサクについて (1-9) / 菊地卓弥: 門田裕一博士によって発表された秋田県及び隣県産のトウヒレン属植物の紹介 (10-12) / 菊地卓弥: 秋田県大館市長走でのヤワラシダの新産地 (13-14) / 菊地卓弥: 秋田県大館市外川原でハチミツソウを採集 (15)

第69号 2016年2月—高田 順: シデアブラガヤとその親植物について (1-4) / 菊地卓弥: オオシラヒゲソウの新産地 (5) / 菊地卓弥: 秋田県大潟村の植物点描 (3) (6-8) / 菊地卓弥: 秋田県新産の帰化植物—チャボウシノシッペイ (9-10) / 高田 順: 秋田県フロラ資料 (22) (11-14) / 工藤壯一: ホクリクムヨウランの自生確認 (15-17)

○山形県立博物館研究報告

〒990-0826 山形市霞城町1-8 山形県立博物館

<http://www.yamagata-museum.jp/archives/memoir/>

第31号 2013年3月—川上新一・鈴木 暁: 平成24年度琵琶沼の維管束植物調査報告 (13-20)

第32号 2014年3月—川上新一・鈴木 暁: 長沢利英の維管束植物標本について (19-22)

第33号 2015年3月—川上新一: 山形県産変形菌類目録補遺 (5-10) / 川上新一・鈴木 暁: 新たに整理された佐藤泉の維管束植物標本について (11-12)

第34号 2016年3月—川上新一・鈴木 暁: 石塚末吉の維管束植物標本について (5-12)

○フロラ山形

〒990-0826 山形市霞城町1-8 山形県立博物館内 フロラ山形事務局

No.70 2014年12月—高橋信弥: 2014年 山形県フロラの動向 (1-15) / 沢 和浩: '14植物調査の中から (16-19) / 土門尚三: 摩耶山の高山植物における新しい植生と植物相—未記録の高山植物が4種類発見されたことによる— (20-25) / 大類雄一: 淡紅色の「こぶし」 (26) / 佐藤定四郎: 水晶山の風穴とハシドイ (27-29) / 佐竹恵一: 千歳山のミヤマクマワラビ (30-31) / 高橋信弥: 植物採集おぼえ書 (18) (32-34) / 志鎌節郎: 2014年に出会えた植物 (35-37) / 鈴木 暁: 2014年 草木散歩より (38-42) / 大類雄一: 離島白山島に特定外来生物アレチウリ (43) / 門間久右衛門: 蔵王・五色岳 コマクサの誘い (2014 Transit Book より) (44-49) / 佐藤靖夫: 山形県産のコシノヤバナゴケ・カワゴケ・クロカワゴケの産地 (50)

No.71 2015年12月—高橋信弥: 2015年 山形県フロラの動向 (5-17) / 沢 和浩: '15植物調査の中から (18-22) / 土門尚三: 庄内砂丘地の植物観察 (1) 庄内砂丘地 (山形県内)にハマカキランは自生するか (23-26) / 志鎌節郎: 山形県立自然博物館10年の植物変化 (27-29) / 佐竹恵一: 大沼浮島のタニヘゴモドキ (30-32) / 大類雄一: 鶴岡地区のノウルシ分布メモ (33-34) / 高橋信弥: 植物採集おぼえ書 (19) (35-38) / 鈴木 暁: 2015年 草木散歩より (39-42) / 門間久右衛門: 土通草・ツチアケビの誘い 2015 Transit Book より (43-47) / 安部敏一: 2015年植物・キノコ観察の中から (48-50) / 伊藤和子・佐竹恵一・土門尚三: 山形県の照葉樹林における林床植生の多様性—シダ植物を指標としての考察— (51-53)

○群馬県立自然史博物館研究報告

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1 群馬県立自然史博物館

http://www.gmnh.pref.gunma.jp/research/report_rese.html

第19号 2016年3月—大森威宏：松澤篤郎コレクションより見いだされた群馬県未記録維管束植物 1 (199-204)

○茨城県自然博物館研究報告

〒306-0622 茨城県坂東市大崎700 ミュージアムパーク茨城県自然博物館

<https://www.nat.museum.ibk.ed.jp/publications/2/index.html>

第18号 2015年12月—栗原 孝・小幡和男：恋瀬川の維管束植物 (83-118)

○埼玉県立自然の博物館研究報告

〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀨町長瀨1417-1 埼玉県立自然の博物館

http://www.shizen.spec.ed.jp/?page_id=116

第8号 2014年3月—勝又暢之・南 佳典：都市域孤立林におけるタマノカンアオイの生存適地 (9-14) / 田留健介・新井裕二：埼玉県新産アオキランに関する報告 (69-70)

第9号 2015年3月—山本 薫：埼玉県における維管束植物の種多様度の評価 (21-30)

第10号 2016年3月—木山加奈子：埼玉県新産のクゲスマラン *Cephalanthera longifolia* について (25-30)

○小笠原研究年報

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 首都大学東京理工学研究科内 首都大学東京小笠原研究委員会

http://www.tmu-ogasawara.jp/ogasawara_index.html

第38号 2015年5月—須貝杏子・渡邊謙太・向 哲嗣・加藤英寿・菅原 敬：小笠原諸島固有種オガサワラボチョウジの保全について (2) (65-73) / 渡邊謙太・須貝杏子・向 哲嗣・加藤英寿・菅原 敬：オガサワラボチョウジにおける花序あたりの花数は列島間で異なる (97-101)

第39号 2016年5月—川口大朗・向 哲嗣・宮川五葉：シマツレサギソウ *Platanthera boninensis* Koidz. の食害による更新阻害 (68-72) / 後藤雅文・熊本舞子・島田律子：父島「水ノ下」海岸におけるオガサワラアザミの食害 (続報) (85-88)

○神奈川県立博物館研究報告 自然科学

〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499 神奈川県立生命の星・地球博物館

<http://nh.kanagawa-museum.jp/kenkyu/bulletin/>

第44号 2015年2月—田中徳久・勝山輝男・大西 亘：フランシエとサヴァチェが記載した神奈川県産シダ植物と単子葉植物の基準標本 (23-48)

第45号 2016年2月—田中徳久・勝山輝男・大西 亘：フランシエとサヴァチェが記載した神奈川県産双子葉植物の基準標本 (41-67) / 大西 亘・加藤ゆき・松本涼子・広谷浩子・渡辺恭平：博物館収蔵庫での酸化プロピレンガス燻蒸処理におけるタバコシバンムシ幼虫の生存事例 (145-149)

○神奈川自然誌資料

〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499 神奈川県立生命の星・地球博物館

<http://nh.kanagawa-museum.jp/research/nhr/>

第36号 2015年2月—瀬戸良久・武市早苗・中嶋克行：実生ヒガンバナ2例における成長と初花の形態学的観察 (7-10) / 田中徳久・大西 亘・勝山輝男：サバチェが採集した植物標本に残る神奈川県の絶滅植物 (11-20) / 磯辺山河・齋藤央嗣・逢沢峰昭：神奈川県丹沢山塊のヒメコマツの個体群構造と更新状況の過去10年間の変化 (21-24)

第37号 2016年2月—田中徳久：神奈川県地域植物相の重要な記録となる標本 (1-10) / 三樹和博：相模原市域 (神奈川県北西部) における維管束植物相の特徴 (11-16)

○横須賀市博物館研究報告 (自然科学)

〒238-0016 横須賀市深田台95 横須賀市自然・人文博物館

[http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/?s=%E7%A0%94%E7%A9%B6%E5%A0%B1%E5%91%8A\(%E8%87%AA%E7%84%B6%E7%A7%91%E5%AD%A6\)&mode=6&kind=%E7%A0%94%E7%A9%B6%E](http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/?s=%E7%A0%94%E7%A9%B6%E5%A0%B1%E5%91%8A(%E8%87%AA%E7%84%B6%E7%A7%91%E5%AD%A6)&mode=6&kind=%E7%A0%94%E7%A9%B6%E)

5%A0%B1%E5%91%8A (%E8%87%AA%E7%84%B6%E7%A7%91%E5%AD%A6

第62号 2015年3月—大森雄治：天神島・笠島の植物相とその変遷 (7-16)

第63号 2016年3月—山本 薫・橋村みさき・加藤英寿・村上哲明：伊豆諸島北部におけるベニシダ類 (オシダ科)の有性生殖種と無性生殖種の分布 (27-48)

○山梨植物研究

〒400-0025 山梨県甲府市朝日1-6-8 跡部浩一方 山梨県植物研究会

第28号 2015年4月—望月一二：身延町における国指定のオハツキイチョウの花と種子に関する一観察 (2-7) / 渡辺長敬：富士山麓梨ヶ原草原のフロラ (8-14) / 小松澤 靖・穂原 桂：鳳凰山におけるタカネピランジ及びホウオウシャジンの生育状況 (15-19)

第29号 2016年4月—望月一二：温暖化に伴う山梨県南部の暖地性植物の北上について (16-18) / 渡辺長敬：2015年RDB植物調査で確認した県内新出植物について (19-22) / 小林富一郎：スゲ属2種 (アカンスゲ・スルガスゲ)の県内の分布 (23-25)

○長野県環境保全研究所研究報告

〒381-0075 長野市北郷2054-120 (飯綱庁舎) 長野県環境保全研究所

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/johotekyo/kenkyuhokoku/hozen/index.html>

第11号 2015年3月—大塚孝一・尾関雅章：長野県木曾地域における常緑広葉樹シラカシ (ブナ科)の分布 (9-13)

○新津植物資料室年報

(〒956-0186 新潟県新潟市秋葉区新津東2-5-6 新津地域学園内 積雪地域植物研究所)

新潟大学学術レポジトリ <http://dspace.lib.niigata-u.ac.jp:8080/dspace/handle/10191/11393?cp=1>

2014 2015年3月—安富佐織：新津丘陵植物図譜 [7] オオタチツボスミレ (1-2) / 石沢 進：分布上顕著な新津の植物 (14) (3-10) / 石沢 進・朱 雁：新津丘陵古津八幡山における維管束植物の目録追加 (その2) (11-12) / 朱 雁・石沢 進：新津丘陵の稀産種 (2) サネカズラ・オニヒカゲワラビ (13-19) / 平 慎三：新津市街地のツチアケビ (20-21) / 石沢 進・朱 雁：新潟県植物分布資料 (14) (24-40) / 渡辺洋子：佐渡の植物観察記録 13 (41-44) / 藤塚治義・中野雅子：マイヅルテンナンショウの新産地 (45) / 富永 弘：魚沼市と周辺の植物 (1) (46-50) / 桐生 誠：新潟魚沼産植物図譜 (7) カワミドリ (51) / 登坂裕一：山形県小国町のシダ オオフジシダと絶滅危惧のシダ2種 (52-55) / 志賀 隆：松浜の池 (新潟市) で確認された外来水草：オオサンショウモ、アマゾントチカガミ、ウチワゼニクサ (56-57)

2015 2016年3月—安富佐織：新津丘陵植物図譜 [8] エゾアジサイ (1-2) / 石沢 進：分布上顕著な新津の植物 (15) (3-15) / 石沢 進・朱 雁：新津丘陵に逸出して分布している植物 (主に樹種) (17-31) / 平 慎三：新潟市秋葉区横川浜のサンショウモ (32) / 石沢 進・朱 雁：新潟県植物分布資料 (15) (35-42) / 渡辺洋子：佐渡の植物観察記録 14 (43-45) / 富永 弘：魚沼市と周辺の植物 (2) (46-47) / 桐生 誠：新潟魚沼産植物図譜 (8) ヤマハッカ (48) / 登坂裕一：湯沢町のアズミノナライシダ (49-50)

○富山市科学博物館研究報告

〒939-8084 富山県富山市西中野町1-8-31 富山市科学博物館

<http://www.tsm.toyama.toyama.jp/?tid=100115>

第38号 2014年3月—氷見栄成・佐藤 卓：富山県黒部市嘉例沢に分布するブナ林の森林構造 (1-6) / 氷見栄成・佐藤 卓・金子靖志：富山県朝日町大鷲山稜線の森林群落構造 (7-13) / 坂井奈緒子：富山県産蘚類チェックリスト (15-44) / 坂井奈緒子・加藤治好・南部久男：野鳥 (シジュウカラ, ヤマガラ, オオルリ) が巣材に選択する蘚苔類 (45-54)

第39号 2015年3月—坂井奈緒子：富山市粟巣野百間滑周辺の蘚苔類 (7-12) / 藤田将人・増渕佳子・太田道人：富山市山岳域の地質学的, 地形学的特徴と植生—II (87-90)

○富山県中央植物園研究報告

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42 富山県中央植物園

<http://www.bgtym.org/kennkyuu-houkoku-backnumber2.html>

第20号 2015年2月—兼本 正・志内利明・魯 元学・中田政司・管 開雲：*Elatostema salvinoides*の核形態（英文）（1-6）／糟谷大河・橋屋 誠・保坂健太郎：北陸地方のコナラの枯木より発生したツキヨタケの分子系統的位置（7-14）／神戸敏成・岡田雄治・久我口阿門・黒田勇樹・小林耶惟・廣井 誠・役田隆一・富士原和宏：LED光の波長帯が三倍体センノウの腋芽由来シュートの成長に及ぼす影響（15-20）／高橋一臣・吉田めぐみ：立山に生育するササの種類とササをとまなう植物群落の種組成（21-38）／山下寿之：県民公園頼成の森（富山県砺波市）の森林植生（39-46）／大原隆明・富山県中央植物園友の会植物誌部会：富山県フロラ資料（18）（47-63）

第21号 2015年12月—兼本 正・志内利明・王 仲朗・管 開雲：中国雲南省に帰化しているアカザカズラ（ツルムラサキ科）の核型（英文）（1-5）／山下寿之：2013年から2015年における富山県中央植物園のウメ50品種の開花日と冬の気温（7-14）／岡田雄治・大原隆明・松澤志歩・加藤勇樹・近川智勇・森内貴義・女川朔宣・堀内遼太郎・寺島卓矢・森田里香・中田政司・神戸敏成：ヤマザクラの菊咲き性新品種「ジョウキョウジテマリザクラ」の組織培養による増殖（15-22）／中田政司・川住清貴：富山県高岡市で野生化した外来水草ラージパールグラス（23-27）／吉田めぐみ・高橋一臣：立山におけるササが優占する群落の種組成（29-41）／志内利明・山下寿之・王 仲朗・魯 元学・馮 寶鈞・管 開雲：中国雲南省のトウツバキ古樹資料（3）2008年調査の記録（43-55）

○富山の生物

〒930-8555 富山県富山市五福3190 富山大学理学部生物学教室 富山県生物学会

http://www.geocities.jp/toyamaken_seibutugakkai/

第54号 2015年3月—永井知佳・佐藤 卓・氷見栄成・松村 勉・海津 雄：富山県山田川流域の溪畔林と北東稜線部に見られる森林群落（35-44）／氷見栄成・佐藤 卓・松村 勉・金子靖志・野口 泉・永井知佳：富山県山田川流域の南東側分水嶺周辺に見られる森林群落について（45-53）／佐藤 卓：2014年全国ブナ結実状況（87-92）／氷見栄成・佐藤 卓・松村 勉・金子靖志：富山県富山市牛岳に分布するブナ林の森林構造（93-99）

第55号 2016年3月—松村 勉・佐藤 卓・氷見栄成・永井知佳・金子靖志・海津 雄・江上有紀：富山県下条川流域の植生と森林構造（3-13）／佐藤 卓：2013年全国ブナ結実状況（55-61）／佐藤 卓：2015年、ブナの結実と個体サイズの関係（63-67）／佐藤 卓：富山県有峰のブナの豊凶を決める気象因子は何か（69-74）／長井幸雄：三条山の植物相の概況（75-83）

○石川県白山自然保護センター研究報告

〒920-2326 石川県白山市木滑ヌ4 石川県白山自然保護センター

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/hakusan/publish/report/index.html>

第41集 2014年12月—榎 典雅・平松新一・江崎功二郎：白山念仏池（仮称）のタマミクリ及び水生生物を中心とする生物相（20-23）／野上達也・伊藤浩二・大谷基泰・吉本敦子：能登半島に自生するクルマユリ（*Lilium medeoloides*）の現状と白山のクルマユリとの形態比較（29-34）／野上達也・中村こすも・小谷二郎・野崎英吉：石川県のブナ科樹木3種の結実予測とクマの出没状況，2014（35-48）／野上達也・宮下 峻：白山公園線（石川県）におけるセイタカアワダチソウ（*Solidago altissima*）の分布と除去（3）（49-54）

第42集 2015年12月—野上達也・中村こすも・小谷二郎・野崎英吉：石川県のブナ科樹木3種の結実予測とクマの出没状況，2015（1-14）／野上達也・宮腰政男・西田睦男・池内 裕：白山公園線（石川県）におけるセイタカアワダチソウ（*Solidago altissima*）の分布と除去（4）（15-22）

○河北潟総合研究

〒929-0342 石川県河北郡津幡町字北中条ナ9-9 NPO法人河北潟湖沼研究所

<http://kahokugata.sakura.ne.jp/publications/sougouken.html>

第18巻 2015年4月—高野典礼・田中幹大：チクゴスズメノヒエからの温室効果ガスの発生（11-14）

○石川県立自然史資料館研究報告

〒920-1147 石川県金沢市銚子町リ441 石川県立自然史資料館

<http://www.n-muse-ishikawa.or.jp/motto/publish.html>

第5号 2015年3月—古池 博・白井伸和・吉本敦子：白山の高山帯・亜高山帯の植生地理とその長期変動
2. 弥陀ヶ原の雪田群落の最近約半世紀間の減少 (19-24) / 古池 博・高内 香：石川県草本植物図譜 (2)
(43-44)

第6号 2016年3月—古池 博・高内 香：石川県草本植物図譜 (3) コシノコバイモとミノコバイモ (53-54)

○福井市自然史博物館研究報告

〒918-8006 福井県福井市足羽上町147 福井市自然史博物館

<http://www.nature.museum.city.fukui.fukui.jp/shuppan/kenpou/kenpou.html>

第61号 2014年12月—中村幸世・吉澤康暢・梅村信哉：足羽山におけるカンアオイの分布とギフチョウの産卵場所 (57-68)

第62号 2015年12月—河崎晃博：福井市清水地区における里山の植物相とフェノロジー —環境教育での意義について— (67-73)

○岐阜県植物研究会誌

〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 岐阜大学教育学部生物学教室植物分類研究室内 岐阜県植物研究会

第29巻 2013年12月—清水英彦・福岡義洋：岐阜県におけるアワボスゲの新産地 (1-3) / 清水英彦：岐阜県のウコギ科 (4-10) / 高橋 弘：岐阜県におけるイネ科タケ亜科植物とその分布 (11-68)

第30巻 2014年12月—清水英彦：標本から岐阜県の分布が確認されたスゲ属2種 (1-4) / 後藤稔治：岐阜県のタイミンガサとヤマタイミンガサについて (5-7) / 高橋 弘：岐阜県のヤマボクチ類 (8-15) / 高橋 弘：岐阜県におけるフウロソウ科植物と自生種の分布 (16-27) / 高橋 弘：岐阜県に自生するアブラナ科とその分布 (28-52)

○ため池の自然

〒467-8610 名古屋市長春区汐路町3-40 名古屋女子大学食品衛生学研究室 杉山 章方 ため池の自然研究会

http://www.geocities.jp/tukanoiri/99_blank001.html

第55号 2014年9月—下田路子：土地開発に伴うため池と水草相の変遷—東広島市西条盆地における事例 (1-6) / 中村 肇：名古屋城外堀に生育するオニバスの記録 (2013) (16-19)

第56号 2015年9月—飯尾俊介：尾張のタンザワウマノスズクサ及びオオバウマノスズクサの分布についての覚え書き (18-22) / 中西 正：豊橋市水神池の水草群落の15年の変化 (23-31)

○鳳来寺山自然科学博物館館報

〒441-1944 愛知県新城市門谷森脇6 新城市鳳来寺山自然科学博物館

<http://www.city.shinshiro.lg.jp/index.cfm/6,3129,c,html/3129/20151203-134329.pdf>

第44号 2015年3月—中西 正：長ノ山湿原の植生と40年間の変化 (51-72) / 小林元男：東三河の植物分布情報 (3) (73-80) / 小林元男：法面緑化による外来植物の野生化 (81-84)

○奈良植物研究

〒631-0003 奈良市中登美ヶ丘4-2 菅沼孝之方 奈良植物研究会

<http://www.nara-botany.sakura.ne.jp/publication/publication.htm>

第34号 2013年3月—辻本善次：奈良市春日山で絶滅または絶滅が危惧されるシダ植物 (1-12) / 辻野 亮・松井 淳・山本美智子・山本浩大・寺田良介・湯本貴和・高田研一：大峰山系弥山におけるシラビソ縞枯林とニホンジカの影響の変化 (13-20)

第35号 2014年11月—森本範正：県内植物ニュースあれこれ (10-11) / 富永明良：吉野町喜佐谷のヒロハコンロンソウ (アブラナ科) (12) / 富永明良：アケボノシュスランとアメリカコナギの新産地追加 (12-13) / 富永明良：互生のタカネハンショウヅルと対生のクサアジサイ (16) / 織田二郎：玉置山 (十津川村) にてクロヒナスゲ *Carex gifuensis* Franch. を確認 (17-19)

○三重自然誌

〒515-0835 三重県松阪市日丘町1386-17 清水善吉方 三重自然誌の会事務局

<http://www.zb.ztv.ne.jp/mie-shizenshi/book.html>

第13号 2012年12月—山本和彦・市川正人・山脇和也：神島の植物相(1-8)／市川正人・山本和彦：津市内溜池の植物相(128-136)

第14号 2014年12月—山本和彦・市川正人：三重県における絶滅危惧植物の分布に関する最近の知見(37-47)／中 優：三重県における水草の分布記録(48)

○南紀生物

〒646-0028 和歌山県田辺市高雄1-25-18 玉井済方夫 南紀生物同好会会誌編集部

http://nankiseibutu.jp/nankiseibutu_hyosi.html

第56巻第1号 2014年6月—土永知子：和歌山県美浜町煙樹ヶ浜のハマビシ(74-75)／山本修平：和歌山県絶滅危惧植物目録(3)種子植物 予報(86-91)

第56巻第2号 2014年12月—山本修平：和歌山県絶滅危惧植物目録(4)種子植物 予報(153-158)

第57巻第1号 2015年6月—土永知子：芝口常楠採集の100年前の高等植物標本(74-75)／山本修平：和歌山県絶滅危惧植物目録(5)種子植物 予報(57-62)

第57巻第2号 2015年12月—内藤麻子・谷関俊男・滝野秀二・高須英樹・藤井伸二：和歌山県におけるソハヤキミズ(イラクサ科)の再発見と新産(115-116)

○和歌山県立自然博物館館報

〒642-0001 和歌山県海南市船尾370-1 和歌山県立自然博物館

第32号 2014年11月—内藤麻子・市川研太・中谷崇人・南川紘輝・有本 智：和歌山県海南市におけるツメレンゲの分布とその保全活動について(71-78)

○大阪市立自然史博物館研究報告

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23 大阪市立自然史博物館

<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/publication/bulletin/index.html>

67号 2013年3月—長谷川匡弘・岩坪美兼・鳴橋直弘：バラ科アイノコヘビイチゴの大阪府下での生育確認とその染色体数(21-25)

68号 2014年3月—畦 浩二・道盛正樹・今川邦彦・狩野登之助・佐伯雄史・小林亮平・木村全邦：大阪府蘇苔類資料3 万博記念公園(吹田市)の蘇苔類(53-66)

69号 2015年3月—横川昌史：国東半島南東部における塩性湿地および砂浜・砂丘の植物群落の現状と各調査地における20年間の変化(1-18)

70号 2016年3月—鳴橋直弘：ニューヨーク植物園に収蔵されている重要な日本産バラ科キイチゴ属の標本(英文)(83-86)

○兵庫の植物

〒654-0121 明石市大蔵谷清水583-36 小林禮樹 兵庫県植物誌研究会

第25号 2015年6月—高野温子・高見祐一：兵庫県に産するイワギボウシはオヒガンギボウシである(1-4)／山本義則：兵庫県にみられるホソバシロスミレとその雑種ホソバキリガミネスミレ(5-6)／近藤眞由美・高野温子・黒崎史平：兵庫県初報告の帰化植物ズングリオヒシバ(イネ科)とその生活形(7-10)／小林禮樹・黒崎史平・松岡成久・竹上秀己・松尾幹生・松永麻子・福島秀毅：明石市の海岸で最近確認されたハマビシ(ハマビシ科)の生育状況とその由来(11-14)／橋本光政・小林禮樹・黒崎史平・松岡成久：井波一雄氏が1935~58年に兵庫県(六甲山地など)で採集した植物(千葉県立中央博物館所蔵標本)(15-26)／丸岡道行：三木市の植物目録(27-112)／小林禮樹・黒崎史平・宇那木 隆・松本修二・松尾幹生・柳川 宏・生嶋史朗・藤井俊夫：洲本市由良町に移植されたハマアザミの生育状況の推移(8)―2014年の個体群調査―(113-120)

第26号 2016年6月—小林禮樹・黒崎史平・丸岡道行・菅村定昌：日高町でみつかった兵庫県新産のウチワドコロ(ヤマノイモ科)の生育環境(7-10)／黒崎史平：兵庫県産イヌコウジュ属(シソ科)(11-18)／牧 嘉裕・山本義則：ニョイスミレの変種アギスミレとヒメアギスミレの形質と分布域の比較(19-26)／矢内正弘・

松永麻子：兵庫県産ホシクサ科植物の再検討ノート (27-32)／橋本光政・小林禮樹・黒崎史平・丸岡道行：メグスリノキ (カエデ科)の観察と兵庫県における分布 (33-36)／丸岡道行：三木市の追加植物目録 (37-46)／追田昌宏：オチフジ (シソ科)の発芽試験 (47-50)／橋本光政：兵庫県随一のミズナラ巨木林の発見 (51-54)／小林禮樹・黒崎史平・宇那木 隆・丸岡道行・藤井俊夫・松岡成久・生嶋史朗：洲本市由良町に移植されたハマアザミの生育状況の推移 (9)－2015年の個体群調査－ (55-62)／小林禮樹・黒崎史平・松岡成久・竹上秀己・松尾幹生・松永麻子：明石海岸におけるハマビシの生育状況の推移 (1)－2015年の個体群調査－ (63-66)

○倉敷市立自然史博物館研究報告

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1 倉敷市立自然史博物館

<http://www2.city.kurashiki.okayama.jp/musnat/publication-2.html>

第30号 2015年3月—狩山俊悟：岡山県植物誌資料 (14)岡山県のバラ科キイチゴ属 (47-74)

○徳島県立博物館研究報告

〒770-8070 徳島市八万町向寺山徳島県文化の森総合公園 徳島県立博物館

<http://www.museum.tokushima-ec.ed.jp/kiyo.html>

第25号 2015年3月—小川 誠・久米 修：香川県のモウコタンポポ (41-44)／茨木 靖：徳島県産クジュウノガリヤス *Calamagrostis × microtis* (Ohwi) Ohwi (イネ科)についての雑記 (83-86)

第26号 2016年3月—小川 誠：身近な植物で紙を作る新手法 (87-95)／茨木 靖・庄武憲子：祖谷地方で食用にされているセイゴナについて (101-103)／茨木 靖・木場英久：スズメノナギナタ *Parapholis incurva* (L.) C. E. Hubb.の徳島県への帰化 (105-106)

○長崎県生物学会誌

〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14 長崎大学教育学部生物学教室内 長崎県生物学会

<http://park.geocities.jp/gbh018/>

No.75 2014年12月—中西弘樹：長崎県植物誌ノート (42) (1-4)／中西弘樹：神楽島 (長崎市)の植生と植物相 (5-8)

No.76 2015年6月—中西弘樹：長崎県植物誌ノート (43) (21-23)／中西弘樹：全国最低の長崎県—植物標本室の整備状況から— (45-48)／川内野善治：長崎県佐世保市宇久町のシマモクセイ (ナタオレノキ) *Osmanthus insularis* Koidz. (モクセイ科)について (64-65)／川内野善治：長崎県北松浦半島のタイリンアオイ *Heterotropa asaroides* Morr. et Decne. (ウマノスズクサ科)の分布 (66-67)／川内野善治：北松浦半島の植物観察記録 (9) (91-97)

No.77 2015年12月—中西弘樹：長崎県におけるハマナツメの分布と生態 (5-7)

○佐賀自然史研究

〒849-0303 佐賀県小城郡牛津町大字牛津152-4 上赤博文方 佐賀自然史研究会

<http://www.geocities.jp/sagashizen/>

第19号 2014年8月—宮崎八州雄：佐賀県内で近年確認した希少植物について (4) (21-24)／上赤博文：侵略的に増殖する絶滅危惧植物 (2)アサザ (33-35)／上赤博文：佐賀県で新たな分布が確認された植物 (8) (37-41)

第20号 2015年12月—上赤博文：佐賀県内におけるアサザ (ミツガシワ科)の分布 (17-21)／上赤博文：佐賀県内におけるブラジルチドメグサ (セリ科)の生育状況 (45-48)

○宮崎県総合博物館研究紀要

〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4-4 宮崎県総合博物館

第35輯 2015年3月—岩切勝彦：調査データの集約方法について (25-29)／斉藤政美：宮崎県のテイカカズラ類について (31-35)／斉藤政美：チョウセンナニワズについて (37-39)

(中田政司 編)